

# 第43回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2018.01.16 薦田麻莉子

## シオノギ製薬

### [オピオイド誘発性便秘症治療薬]

#### 『スインプロイク錠 0.2mg』

シオノギ製薬 村田祐輔さん

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：村瀬先生、整形外科職員さん、熊山ともみ、細川亜希子、薦田麻莉子

がんの疼痛緩和の一つとして麻薬性鎮痛薬を使うオピオイド治療を行うことがある。麻薬性鎮痛剤は脳内のオピオイド受容体に結合することで鎮痛効果を発揮するがオピオイド受容体は腸管にも存在しており、麻薬性鎮痛剤が結合すると腸の動きが悪くなり便秘が起こる。今回、オピオイド誘発性便秘症治療薬スインプロイク錠を紹介する。

#### 〈効果・効能〉

オピオイド誘発性便秘症

#### 〈用法・用量〉

通常、成人にはナルデメジンとして1回0.2mgを1日1回経口投与する。

#### 〈用法用量に関する使用上の注意〉

オピオイドの投与を中止する場合は本剤の投与も中止にすること

#### 〈特徴〉

- ・消化管において、スインプロイクがオピオイド受容体に結合しオピオイド鎮痛薬に対して拮抗作用を示す
- ・化合物を血液脳関門の透過性を低下させるようにしているため、中枢におけるオピオイド鎮痛薬の作用を阻害しにくい
- ・食事摂取による吸収の遅延が示唆された(空腹時0.75時間、食後2.5時間)が、吸収量の影響はみとめられなかった

### 〈副作用〉

主に下痢 (21.9%)、腹痛 (2.2%)

### 〈考察〉

ロキソニンなどの非オピオイド鎮痛薬で鎮痛効果が得られなかった場合、オピオイド鎮痛薬を含むトラムセットを使うことが多い。それにともなって、便秘で本剤を服用した場合、下痢、腹痛がないか服薬指導の際に確認し、中止もしくは他の下剤に変更にするなど患者のQOLにつなげたい。

### 〈質問〉

問：ほかの下剤と併用した場合、保険上問題ないか。

答：問題ない。

因みにあくまで便秘が認められた場合に使う薬のため、オピオイド鎮痛薬の初回投与から本剤を併用すると、保険上問題あり。